

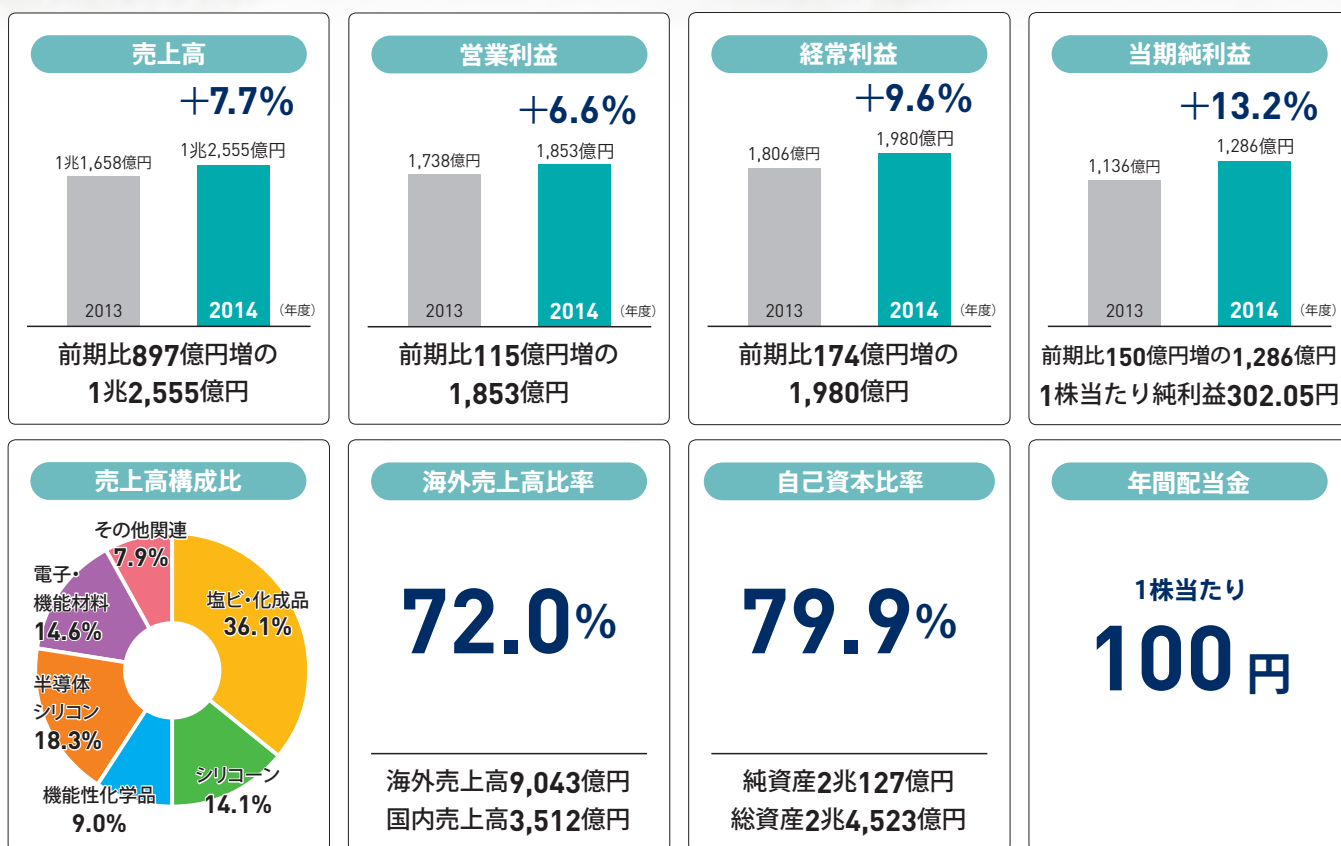
138期報告書

2014年4月1日～2015年3月31日

信越化学工業株式会社



Highlight シンエツハイライト



(ご参考：自己資本1兆9,603億円)

しんえつニュースクリップ

躍進を続けるシンテック

世界最大の塩化ビニル樹脂メーカーである米国子会社のシンテック社は生産設備への投資を進め、事業の強化に取り組んでいます。新興国を中心としたインフラ整備など世界的な需要拡大に対応するため、電解から塩化ビニル樹脂までの一貫生産工場の増強に取り組むとともに、主原料のひとつであるエチレンの生産工場の建設を決定しました。米国の有利な原料事情を活かせる生産設備の強化により、世界最大の塩ビメーカーとしての地位をさらに強化していきます。

シンテック社ブラクマン工場
(ルイジアナ州)



株主の皆さまへ

持続的な成長と 経営基盤の強化により 企業価値を高めてまいります。



代表取締役会長 金川 千尋



代表取締役社長 森 俊三

株主の皆さまにおかれましては、
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

●当期の概況

当期の世界経済は、米国では着実な回復が続きましたが、欧州では力強さを欠く展開となり、アジア地域などの新興国では伸び悩みの傾向が見られました。一方、日本経済は消費税率引き上げの影響を受けましたが、その後、緩やかな回復基調をたどりました。

このような状況のもとで、当社グループは世界中の幅広い顧客への販売や、海外の製造拠点の拡充を推し進めるとともに、技術や品質の向上に取り組んでまいりました。また、特長ある製品の開発および原材料の安定確保にも注力し、事業基盤をより一層強化することに努めてまいりました。

この結果、連結売上高 1 兆 2,555億 43百万円（対前期比 7.7%増）、連結営業利益 1,853億 29百万円（同 6.6%増）、連結経常利益 1,980億 25 百万円（同 9.6%増）、連結当期純利益 1,286億6百万円（同 13.2%増）と増収増益を達成しました。

●主要事業の動向

塩ビ・化成事業では、米国子会社のシンテック社が、住宅市場の回復が見られた米国内の需要を取り込むとともに、引き続き世界中の顧客への販売を積極的に進めた結果、当社グループの中で最大の利益を上げ連結決算に貢献しました。半導体シリコン事業は、スマートフォンや自動車関連の半導体デバイスの旺盛な需要を背景に好調に推移しました。シリコン事業は、国内では自動車、化粧品および電子機器向けなど幅広い分野で堅調に推移し、海外でもアジアや欧米向け製品が好調に推移しました。電子・機能材料事業では、希土類磁石が、ハイブリッド車をはじめ自動車向けで伸長し、大容量ハードディスクドライブ向けなども底堅く推移しました。またフォトレジスト製品は、ArFレジストや多層レジスト材料が伸長し、LED用パッケージ材料も堅調に推移しました。

●企業価値の拡大に向けて

【既存事業の強化】

株主の皆さまのご期待にお応えしていくために、持続的な成長を通じた企業価値の向上に取り組んでいます。そのために、当社グループの柱である塩化ビニル樹脂、半導体シリコン、シリコンをはじめとした既存事業をさらに強くしていくことに最も力を注ぎ、生産設備の増強と製品の拡販に取り組んでいます。

当社グループの成長を牽引しているシンテック社は、1974年の操業開始以来、米国内だけでなく世界市場への積極的な販売を推し進めるとともに、設備増強による生産能力の拡大に努め、過去40年間で12回の大型投資を実施してまいりました。現在は、13回目の増設を進めており、さらに塩ビの主原料のひとつであるエチレンを生産する工場の建設を決定しました。

【研究開発への投資】

将来にわたり成長し続けるために、研究開発を積極的に進めてい

ます。既存事業に関連する現業研究では、製品の性能の向上や新たな用途の開発に取り組んでいます。この現業研究により着実に伸ばしてきた事業の代表がシリコンです。お客さまのニーズに応えることができる製品の開発に取り組んできたことにより、安定した収益を生み出すことができる事業になりました。

新規研究では、当社グループの強みを活かせる分野に集中することで、他社と差別化できる製品の開発に取り組んでいます。フォトレジストは、当社グループの合成技術を活かすことにより、半導体デバイスの微細化に応えることができる高品質な製品の開発に成功し、事業を拡大しております。

【成長力と財務力の強化】

企業価値を高めていくためには、事業と研究開発への継続的な投資が必要です。シンテック社は世界の塩ビ需要の伸びを捉えた大型の設備投資を行い、増設後もフル生産、全量販売を継続することで成長してきました。投資により収益を拡大し、その資金を次の投資に振り向けることを繰り返しながら、シンテック社は世界最大の塩ビメーカーへと成長しました。また、もうひとつの主力事業である半導体シリコンでは、製品の世代交代のたびに大型の投資が必要となります。300ミリウエハーへの移行期には、業界で最も早く量産体制を整えたことが奏功し、大きな利益を会社にもたらしました。当社はこのような時機を捉えた投資を積み重ねながら、収益を拡大し企業価値を高めてきました。また、研究開発においても、特許の取得に加えて迅速な投資が事業化の成功につながります。これらの事業の拡大につながる積極的な投資を可能にしてきたのは、安定した財務の力です。これからも成長力と財務力をともに強化することにより、事業の拡大を目指してまいります。

●公正な経営

当社グループは、いかなる場合も安全を最優先し、公正な企業活動を行うことを基本方針としています。遵法に徹した公正な企業活動を推進するため、コーポレートガバナンスにとりわけ注力し、厳格な内部統制システムの運用を行っています。さらに社外取締役および社外監査役に優れた社会的知見と組織運営の経験をもつ有識者の方々をお招きし、独立した立場で経営の監督などを行っていただき、経営の健全性と透明性の確保に努めています。

当社グループは、今後とも持続的な成長を図り、素材と技術を通じて暮らしや産業、そして社会に絶えず貢献し続けることで企業価値を高め、株主の皆さまのご期待にお応えするよう努めてまいります。株主の皆さまには、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2015年 6月

代表取締役会長

代表取締役社長

金川千尋

森俊三

Net Sales/Operating Income by Segment 事業概況

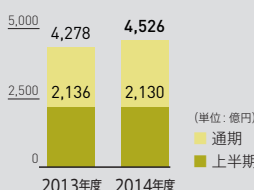
塩ビ・化成

売上高比率 36.1%

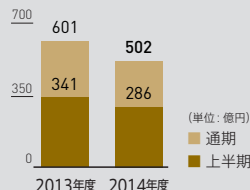
- 米国シンテック社は、原料価格上昇などの影響を受けましたが、米国内の住宅市場の回復に伴う需要増を取り込むとともに、世界中の顧客への積極的な販売で底堅い収益を上げました。
- オランダのシンエツPVC社も出荷は堅調に推移したものの、期後半に原料調達先で生じた設備トラブルの影響を受けました。
- 国内は、住宅関連需要が振るわず、厳しい状況が続きました。

主要製品 塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、メタノール、クロロメタン

売上高 +5.8%



営業利益 -16.4%



シリコン

売上高比率 14.1%

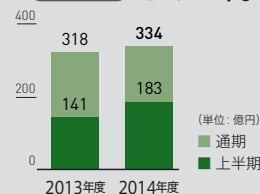
- 国内は自動車と化粧品向けが順調だったことに加え、電子機器向けが上向き、幅広い分野で堅調に推移しました。
- 海外は、欧米のほか東南アジアや中国向けの製品が総じて好調に推移しました。

主要製品 シリコン

売上高 +13.4%



営業利益 +5.1%



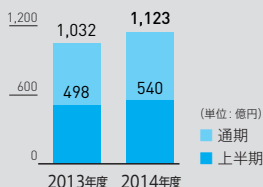
機能性化学品

売上高比率 9.0%

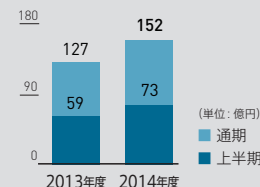
- 国内のセルロース誘導体は、医薬用製品を中心に堅調に推移しました。
- ドイツのSEタイロース社のセルロース誘導体は、価格競争の影響を受けました。
- 豪州のシムコア社の金属珪素は、市況の上昇もあり堅調に推移しました。

主要製品 セルロース誘導体、金属珪素、ポパール、合成性フェロモン

売上高 +8.9%



営業利益 +19.8%



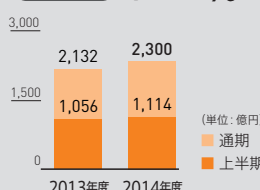
半導体シリコン

売上高比率 18.3%

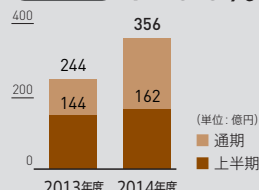
- スマートフォンや自動車などの需要拡大により半導体デバイス生産が増加し、販売は総じて好調に推移しました。

主要製品 半導体シリコン

売上高 +7.9%



営業利益 +45.6%



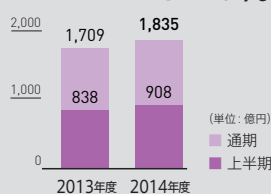
電子・機能材料

売上高比率 14.6%

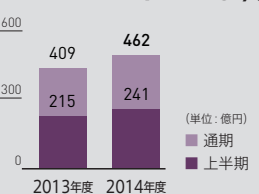
- 希土類磁石はハイブリッド車をはじめとした自動車向けが好調だったことに加え、大容量のハードディスクドライブ向けも底堅く推移しました。
- フォトレジスト製品は、半導体デバイス微細化の進展もあり、ArFレジストや多層レジスト材料などが伸長しました。
- LED用パッケージ材料は堅調に推移しました。
- 光ファイバー用プリフォームは市況低迷の影響を受けましたが、期後半の出荷は堅調でした。

主要製品 希土類磁石、半導体用封止材、LED用パッケージ材料、フォトレジスト、マスクブランクス、合成石英製品、液状フッ素エラストマー、ベリクル

売上高 +7.3%



営業利益 +12.8%



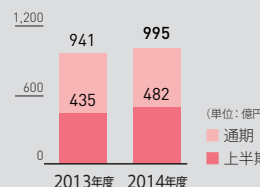
その他関連

売上高比率 7.9%

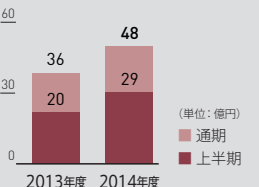
- 信越ポリマー社の自動車用入力デバイスや半導体ウエハー関連容器は堅調に推移しました。
- 信越エンジニアリング社のエンジニアリング事業は底堅く推移しました。

主要製品 樹脂加工製品、技術・プラント輸出、商品の輸出入、エンジニアリング

売上高 +5.8%



営業利益 +31.5%



特集 持続的な成長への布石 — 既存事業の競争力を強化

信越グループは需要の拡大が見込まれる既存事業への投資を推し進め、将来にわたり持続的に成長し続けていくための布石を打っています。世界一の生産能力のさらなる増強に加え、原料からの一貫生産体制の強化を進めているシンテック社の塩化ビニル樹脂（塩ビ）をはじめとして、世界市場における競争力強化に向けた各事業の主な投資内容をご紹介します。

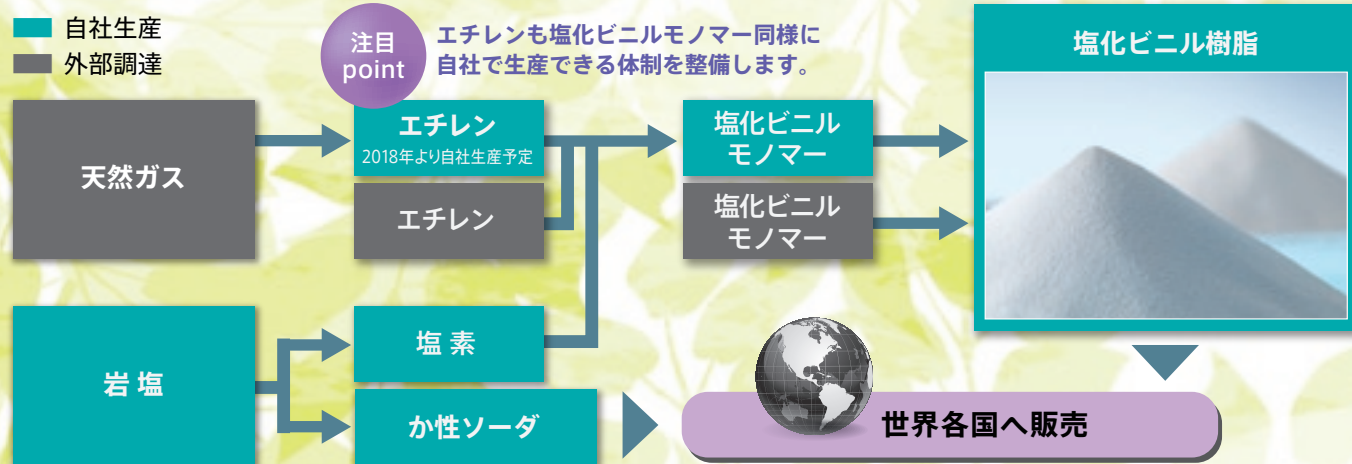
1 塩ビ原料からの一貫生産体制を強化

塩ビ・
化成

世界最大の塩ビメーカーである米国子会社のシンテック社は、世界的な需要の伸びに対応するため、塩ビの原料からの一貫生産体制の強化を進めています。現在ルイジアナ州で進めている塩の電気分解、塩化ビニルモノマー（塩ビモノマー）および塩ビの生産能力の増強は、投資額5億ドル（600億円）で2015年末から2016年にかけて完成予定です。完成すれば生産能力は塩ビモノマーが約30万トン/年、か性ソーダが約20万トン/年、塩ビが約30万トン/年の増強となり、増設

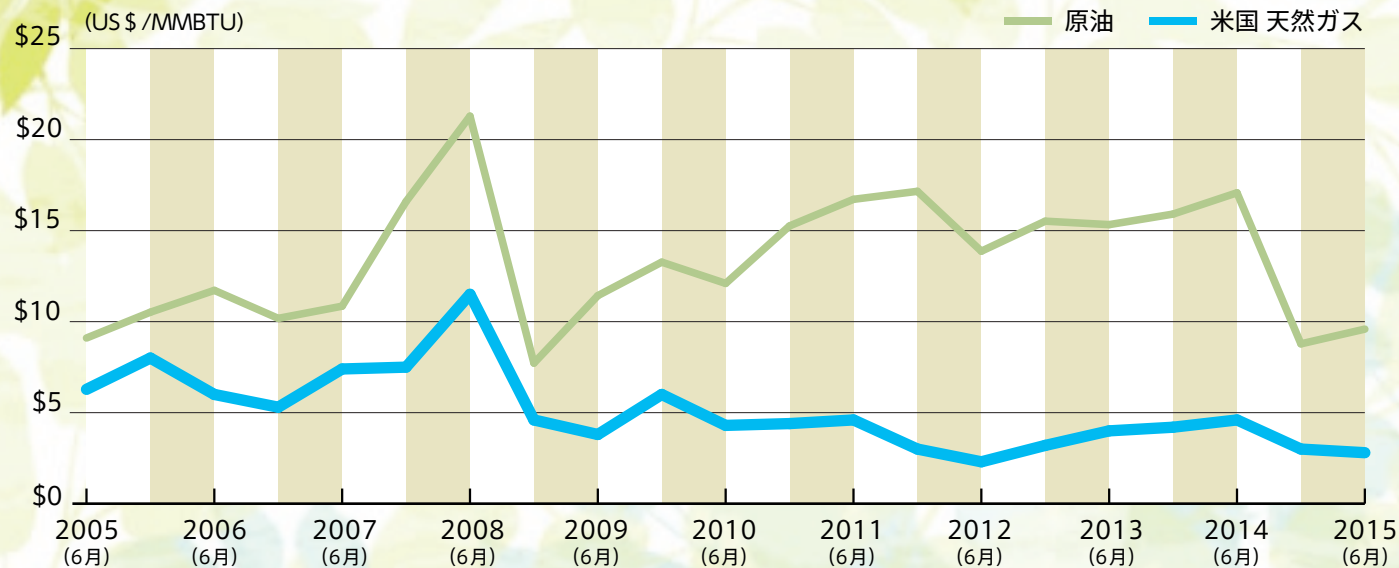
後の塩ビの生産能力は合計295万トン/年となります。また、シンテック社は塩ビの主原料のひとつであるエチレンを生産する工場（50万トン/年）の建設を決定しました。日系の化学メーカーでは米国初となるエチレン工場の建設には約14億ドル（約1,700億円）を投資し、2018年の完成を目指しています。これまで外部調達に頼ってきたエチレンの一部を自社生産することにより、原料からの一貫生産体制を強化していきます。
（* 1ドル=120円で換算した場合）

シンテック社の原料からの一貫生産体制



下記グラフは過去10年間の原油と米国天然ガスの価格（熱量換算）の推移です。塩ビの原料であるエチレンは、原油に比べ天然ガスから作る方が競争力があるとされています。

原油と米国天然ガス価格の比較（熱量換算）



2 米国で塗料用セルロース工場を建設

機能性
化学品



ドイツでセルロース誘導体の生産を手がけている子会社のSEタイローズ社は米国ルイジアナ州でヒドロキシエチルセルロース（HEC）の製造工場の建設を進めています。新工場のHECの生産能力は9千

トン/年で、既存のドイツの工場と合わせて2万7千トン/年になります。HECは主に建材用の水性塗料に使われており、ドイツと米国の拠点を活かし、世界中で堅調な需要の伸びを捉えています。

3 海外での生産体制と研究開発体制を強化

シリコン



シリコンは、電気、電子、自動車、住宅、化粧品やトイレタリー製品など幅広い用途に使われ、先進国に加えて経済成長が進む新興国においてもより優れた機能を持つシリコン樹脂の需要が伸びてきています。

信越グループでは、タイの拠点において約200億円を投じ、シリコンモノマーの生産能力を従来の5割増の10万5千トン/年に、シリコンポリマーの生産能力を従来の4割増の7万4千トン/年に増強する工事を

進めており、海外での生産体制の強化を図っています。

また、有望分野向けの製品開発の強化や新たな用途開拓を目的として、群馬県のシリコン電子材料技術研究所に新たな研究棟を建設しています。さらに、世界最大のシリコン需要国である米国において、新たにテクニカルセンターを設立しました。シリコン電子材料技術研究所と連携して顧客ニーズにきめ細かく応える体制を強化することで、シリコン事業の拡大に取り組みます。

4 台湾でフォトレジストの工場を建設

電子・
機能材料



半導体デバイスの製造工程に欠かせないフォトレジスト関連製品の需要は、半導体デバイスの生産量の増加や微細化の進展により伸びています。当社は需要の伸びを着実に捉えるために、需要地のひと

つである台湾に工場を新設することを決定しました。従来の直江津工場と併せ2つの生産拠点を持つことでリスクの分散と事業基盤の強化を図ります。

5 ベトナムで希土類磁石の工場を建設

電子・
機能材料



ベトナムで進めている希土類磁石の製造工場の第一期工事（1千トン/年）が2015年9月に完成します。これまで日本国内でのみ手掛けていた焼結工程をベトナムでも行います。これにより、お客さまへ

の安定供給体制がさらに強化されるとともに、生産能力の増強により、自動車や風力発電用途などを中心に拡大が見込まれる希土類磁石の需要を着実に取り込んでいきます。

会社概要 (2015年3月31日現在)

商号：信越化学工業株式会社
 設立：1926年9月16日
 資本金：119,419,688,785円
 本社：〒100-0004
 東京都千代田区大手町
 二丁目6番1号
 電話：03(3246)5091(広報部)
 URL：http://www.shinetsu.co.jp/
 従業員数：18,276名(連結)

役員 (2015年6月26日現在)

代表取締役会長	金川 千尋	取締役	フランク・ピーター・ポポフ*1	常勤監査役	岡田 理
代表取締役社長	森 俊三		金子 昌資*1		岡本 博明
代表取締役副社長	秋谷 文男		宮崎 毅*1	監査役	福井 琢*2
	齊藤 恭彦		福井 俊彦*1		小坂 義人*2
専務取締役	石原 俊信		小宮山 宏*1		永野 紀吉*2
常務取締役	幅田 紀一		宮島 正紀		
	高杉 晃司		笠原 俊幸		*1 社外取締役
	轟 正彦		小根澤 英徳		*2 社外監査役
	秋本 俊哉		丸山 和政		
	荒井 文男		池上 健司		
	松井 幸博		塩原 利夫		
	上野 進				

株式の状況 (2015年3月31日現在)

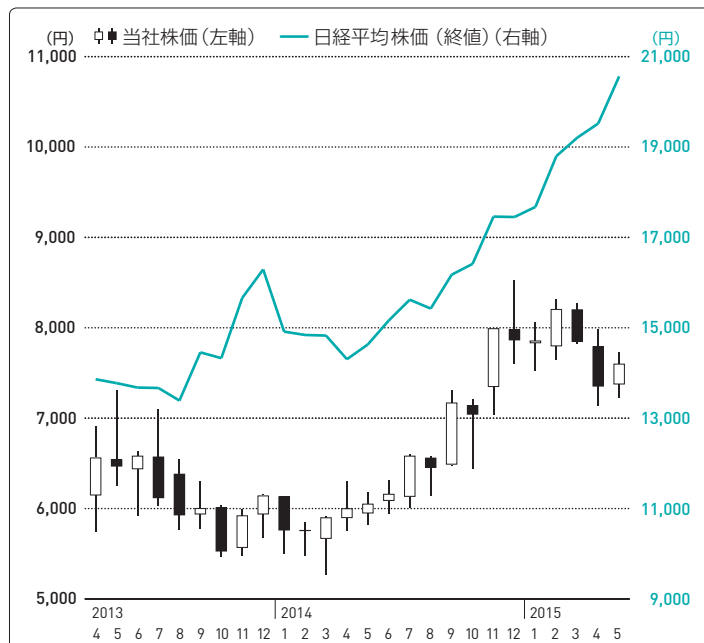
発行する株式の総数：1,720,000,000株
 発行済株式総数：432,106,693株
 (注) 自己株式6,207,027株が含まれております。
 株主の総数：45,643名

大株主 (千株未満は切捨表示)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	38,054	8.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	28,182	6.6
日本生命保険相互会社	21,933	5.1
株式会社八十二銀行	11,790	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	11,415	2.7
明治安田生命保険相互会社	10,687	2.5
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	6,281	1.5
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	5,524	1.3
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	5,357	1.3
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	5,328	1.3

(注) 当社は、自己株式6,207,027株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



株主メモ

事業年度：4月1日～翌年3月31日
 期末配当受領株主確定日：3月31日
 中間配当受領株主確定日：9月30日
 定時株主総会：毎年6月
 公告掲載方法：電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
 (http://www.shinetsu.co.jp/)
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 単元株式数：100株
 上場証券取引所：東京・名古屋
 株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の管理機関
 同連絡先：〒137-8081 東京都東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
証券会社等の口座に記録された株式	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください
特別口座に記録された株式	
特別口座から一般口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元未満株式の買取・買増請求	
住所、氏名などのご変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	

